主催:学校法人南山学園 南山アーカイブズ

2016年度 講演会

建築家の生涯とキャンパス建築という大仕事

―アントニン・レーモンドにとっての南山大学山里キャンパス―

※会場:南山大学名古屋キャンパス(最寄駅:地下鉄名城線「八事日赤」駅)









日程

2016年 11月8日 (火)

時間

開場16時30分/講演17時00分~18時30分

会場

南山大学名古屋キャンパスR棟R32教室

講師

木方十根氏(鹿児島大学大学院理工学研究科教授)

内容

アントニン・レーモンドは1888年、現在のチェコに生まれ、アメリカに渡ったのち、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトとともに来日し、以後日本で活躍した建築家です。レーモンドの生涯は、近代の建築デザインが過去の様式から決別し、今日のそれへとつながる道のりと一致します。そしてその建築家としてのキャリアの集大成として取り組んだのが、南山大学山里キャンパスの仕事でした。ときは折しも、名古屋の町が戦後復興を遂げ、産業都市として飛躍しようとしていた時でした。名古屋では、南山大学のほかにも、名古屋大学や愛知県立芸術大学などの整備がすすみ、著名な建築家あるいは新進気鋭の建築家がキャンパスの建築に取り組んでいました。本講演では、こうした同時期の名古屋における他のキャンパス建築との比較をしながら、建築家アントニン・レーモンドにとっての南山大学山里キャンパスの重要性、彼が到達した境地を、山里キャンパスの建築デザインを通してさぐってみたいと思います。

お問い合わせ:学校法人南山学園 南山アーカイブズ

TEL 052-861-0613 FAX 052-861-0614

■ 〒466-0838 名古屋市昭和区五軒家町6番地

F-Mail nanzan-archives@nanzan.ac.jp

URL

http://www.nanzan.ac.jp/archives/